

令和3年度 長野市観光振興計画の指標達成状況について

1. 本資料の内容

本資料は、前期の長野市観光振興計画（平成29年度～令和3年度）の定める指標について、令和3年度時点の達成状況を整理したものです。

現在、次の5か年度を期間とする新たな長野市観光振興計画（令和4年度～令和8年度）が進められており、本資料に示す達成状況も踏まえてこれを推進していくことが求められています。

なお、令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が観光分野に大きな影響を与えており、各指標の達成状況を確認するなかでは、その影響の確認やアフターコロナにおける課題等を把握することが重要となります。また令和3年度の目標値と実績値を比較するにあたっては、令和3年度の目標値設定において当初想定されていた善光寺御開帳が翌年度に延期されたことも考慮する必要があります。

2. 前期計画における目的及び指標の設定

(1) 前期計画の目的

計画の目的は、長野市の観光の魅力を味わうために地域を何度も訪れるリピーター＝「ながのファン」を創出・増加することを通じて、以下の2点の実現を目指すものです。

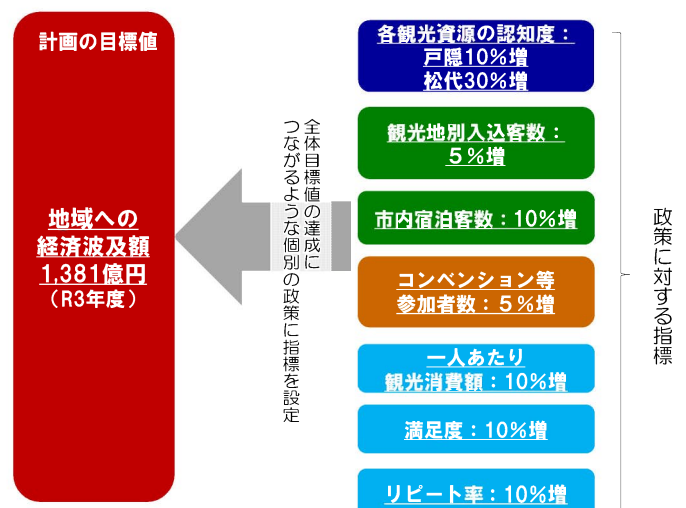
- ① 本市経済の活性化の実現
- ② 地域コミュニティの活性化

(2) 評価の設定

計画の体系は「政策－施策－事業」の3階層となっており、このうち政策において(1)に定める目的達成のための重要な目標として指標(KPI)が設定されています。

また、各政策の取組によって最終的に目指す指標として、総合目標値が設定されています。

■ 目標管理のイメージ



(1) 政策1：市内観光資源の認知度

図表 1 市内観光資源の認知度の目標値と実績値

(単位：%)

		基準値 (H27 年度)	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (※)
善光寺	目標値	94.5	-	-	94.5	-	94.5
	実績値	-	-	-	82.6	-	84.9
戸 隠	目標値	79.3	-	-	85.0	-	90.0
	実績値	-	-	-	61.2	-	65.5
松 代	目標値	50.6	-	-	70.0	-	80.0
	実績値	-	-	-	34.8	-	37.0

◆目標値の算出方法：H27 年度に実施した調査の結果、善光寺はすでに 100%近い認知度を得ていることからこの認知度を維持していくことを目標とする。戸隠は R3 年度に 10 ポイント（中間年度は 5 ポイント）、松代は 30 ポイント（中間年度は 15 ポイント）の認知度の増加を目標とする。

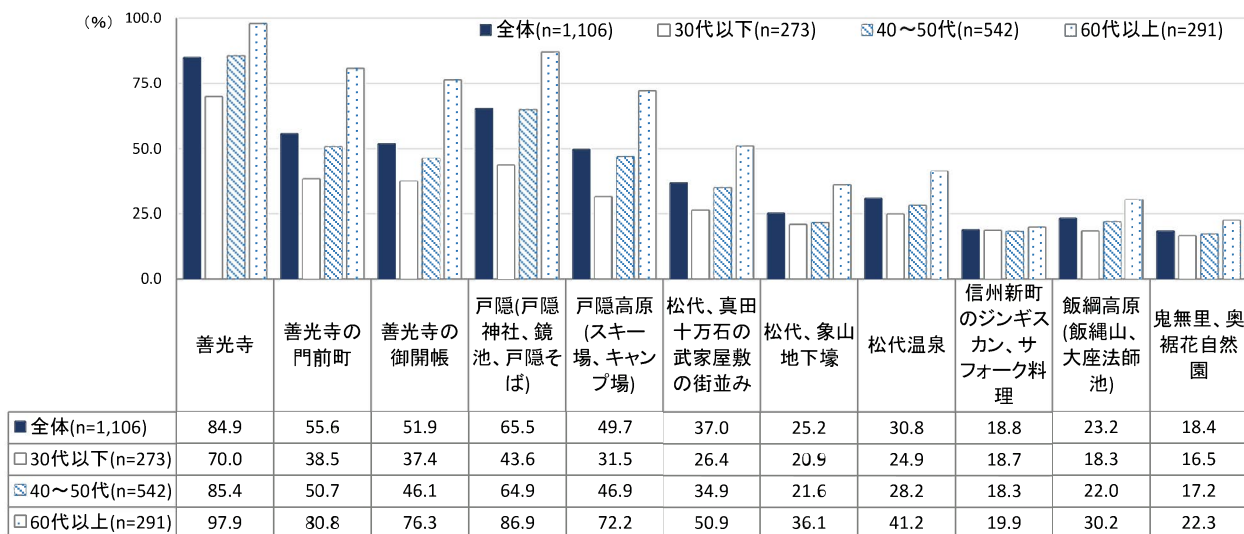
※認知度は「長野市観光に関する Web アンケート調査」で把握するもので、直近では次期計画策定のタイミングにあわせて令和 3 年 2 月に実施しており、この時点で把握した値をもって令和 3 年度の値とした。

- ・ 認知度は善光寺で 84.9%、戸隠で 65.5%、松代で 37.0%となっており、いずれの観光地点においても令和元年度に比べてやや高まっているが、平成 27 年度調査の基準値から比べると低下しており、目標は達成できていない。

※基準値とした平成 27 年度は、善光寺御開帳（4～5 月）、吉永小百合氏を起用した JR 東日本「大人の休日倶楽部」による善光寺・戸隠 CM の放映など、全国的に長野市への注目度が非常に高まっていた時期であるため、平常時に比べ値が大きく出ている可能性があることに留意すべきである。

<参考>

図表 2 年代別 観光資源の認知度



図表 3 居住地別 観光資源の認知度

	善光寺	善光寺の 門前町	善光寺の 御開帳	池、戸隠 (戸隠神社、鏡 池、戸隠そ ば)	場、戸隠 高原(スキー 場、キャン プ場)	武松 家代、真 田十万石 の街並み	松代、 象山地下 壕	松代 温泉	理力信 州新町、 サフオー ク料理	大飯 綱高原 (飯縄山、 大座法師 池)	園 鬼 無里、奥 裾花自然
全体(n=1,106)	84.9	55.6	51.9	65.5	49.7	37.0	25.2	30.8	18.8	23.2	18.4
北海道・東北(n=102)	80.4	51.0	43.1	53.9	34.3	30.4	24.5	25.5	19.6	16.7	15.7
関東(n=509)	89.4	61.7	61.5	73.9	59.5	42.4	30.1	36.1	20.6	26.7	22.0
北陸・中部(n=147)	88.4	56.5	58.5	74.8	54.4	39.5	23.8	32.7	19.0	30.6	20.4
近畿(n=189)	79.9	51.3	39.7	55.6	43.9	31.7	19.6	26.5	18.0	19.6	12.2
中国・四国(n=79)	72.2	41.8	32.9	41.8	27.8	26.6	20.3	21.5	12.7	13.9	13.9
九州・沖縄(n=80)	80.0	45.0	37.5	56.3	33.8	28.8	16.3	20.0	13.8	13.8	13.8

- ・ 認知度を年代別にみると、いずれの観光地においても年齢が高いほど認知度も高くなり、年齢が下がるにつれて認知度が下がっている。本市が将来にわたって顧客を獲得するには、今後は若い世代の認知度を上げることが重要である。
- ・ 認知度を居住地別にみると、善光寺は全国的に知名度が高い。戸隠では関東で73.9%、北陸・中部で74.8%と、認知度が全国平均より高くなっている。この傾向は松代も同様で、関東で42.4%、北陸・中部で39.5%となっている。

(2) 政策2：観光入込客数

図表 4 観光入込客数

(単位：千人)

		基準値	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
市全体	目標値	17,008 (H27 御開帳) 10,018(平常年)	10,100	10,200	10,300	10,400	17,900
	実績値	-	11,008	10,727	10,382	4,485	5,283
善光寺	目標値	12,288 (H27 御開帳) 6,235(平常年)	6,300	6,360	6,423	6,485	12,903
	実績値	-	6,653	6,354	6,302	2,593	3,148
戸 隠	目標値	1,613	1,629	1,645	1,661	1,678	1,694
	実績値	-	1,496	1,578	1,371	1,023	1,060
松 代	目標値	776	784	792	800	808	815
	実績値	-	659	592	384	219	264

◆目標値の算出方法：平常年は H22 年度から H26 年度の平均値を使用。H29 年度から R2 年度は平常年の基準値をもとに毎年 1% 増、R3 年度は H27 年度から 5% 増を目標とする。

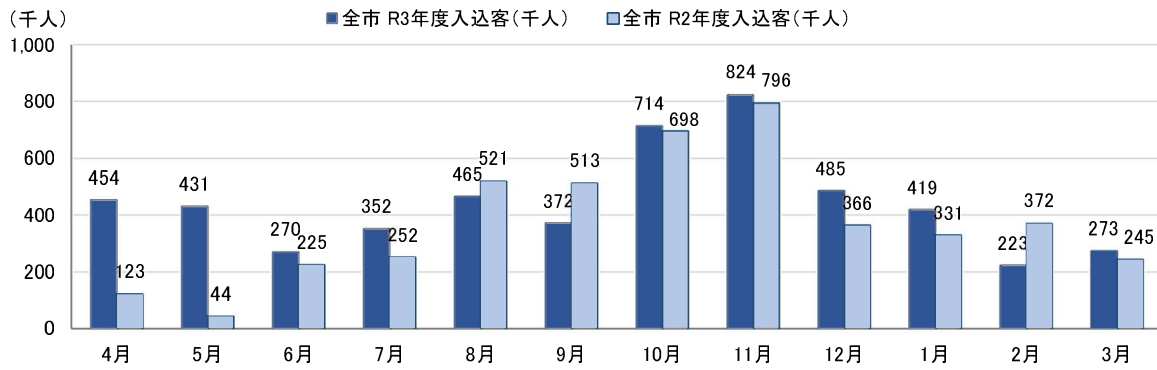
○市全体の観光入込客数

- 市全体の令和 3 年度の観光入込客数は 528 万 3 千人となっており、前年度（448 万 5 千人）から 17.8% 増となった。
- 令和 2 年の 4・5 月は第 1 回目の緊急事態宣言発令により観光客が大幅に減少したタイミングであった一方、令和 3 年の 4・5 月には全国的に旅行機運が回復しており、この 2 か月の差が年度全体での増加につながっているといえる。
- 6 月以降は、概ね前年度と同様の水準で推移しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響が依然として続いている状況である。この期間で前年度より入込客数の減少が大きい月は 9 月（27.5% 減）および 2 月（40.1% 減）となっているが、それぞれ新型コロナウイルスの感染第 5 波・第 6 波のピークとほぼ一致している。

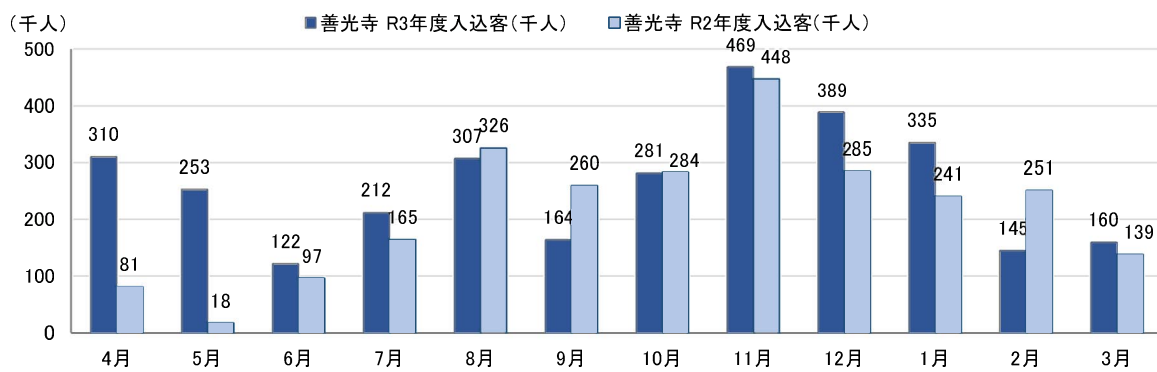
○観光地点別観光延入込客数

- 各観光地点別にみても、上述の傾向が同様にみられる。
- 善光寺では、12 月・1 月において、前年度に比べて大きな増加がみられる（12 月で 36.5% 増、1 月で 39.0% 増）。この時期は前年度において感染第 3 波のあった時期であり、全市的にも前年度に比べて増加（12 月で 32.5% 増、1 月で 26.6% 増）しているが、善光寺の増加割合はさらに大きくなっている。一方で戸隠・松代では、12 月・1 月の前年度からの増加はあまりみられない（戸隠の 1 月では、前年度比より減少している）。

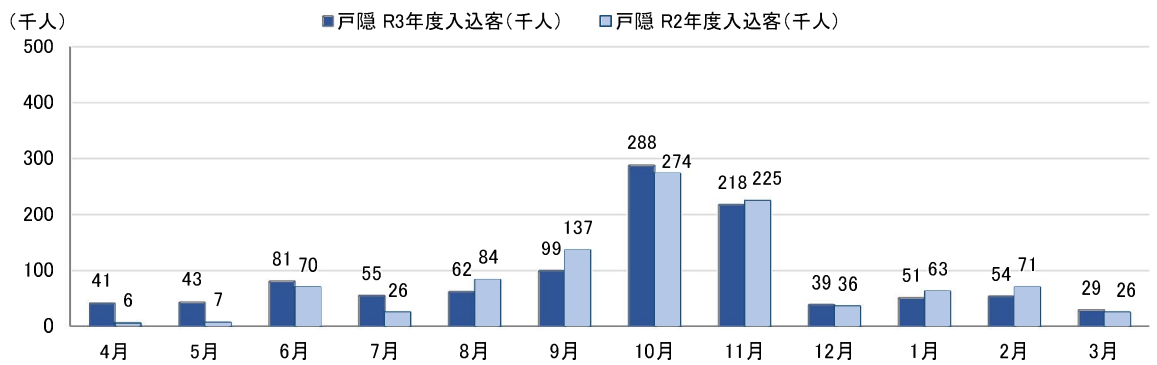
図表 5 市全体 月別 観光地点別観光延入込客数



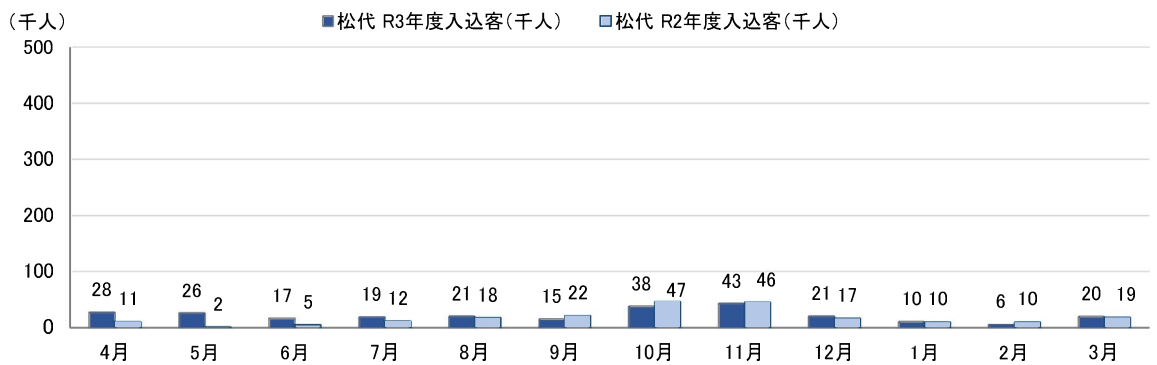
図表 6 善光寺 月別 観光地点別観光延入込客数



図表 7 戸隠 月別 観光地点別観光延入込客数



図表 8 松代 月別 観光地点別観光延入込客数



(3) 政策3：市内宿泊数

図表 9 市内宿泊数

(単位：千人、人)

		基準値 (H27年)	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
総宿泊客数 (千人)	目標値	1,603 (H27御開帳) 1,400 (平常年)	1,428	1,456	1,484	1,512	1,763
	実績値	-	1,608	1,533	1,568	1,031	(集計中)
外国人 宿泊客数 (人)	目標値	59,206	61,600	64,000	66,300	77,000	71,000
	実績値	-	113,177 [*86,382]	153,977 [*107,081]	165,493 [*117,334]	35,951 [*24,344]	(集計中)

◆目標値の算出方法：

- (1)総宿泊客数：観光庁「宿泊旅行統計調査」のデータを活用し、平常年はH23年からH26年の平均値を使用。H29年からR2年は平常年の基準値をもとに毎年2%増、R3年はH27年から10%増を目標とする。
 - (2)外国人宿泊客数：H27年を基準値とし、R2年のみ基準値から30%増、それ以外は基準値から毎年4%増を目標とする。
 - (3)いずれの数値も暦年にて算出
- ※…この数値は長野県「外国人延宿泊者数調査」による実績値。

注) 本指標の算出に用いる観光庁「宿泊旅行統計調査」は6月30日に確定値が公表されたところで、現在その数値における市町村別内訳データの取得手続き中。

<以下、令和2年度の総括を再掲>

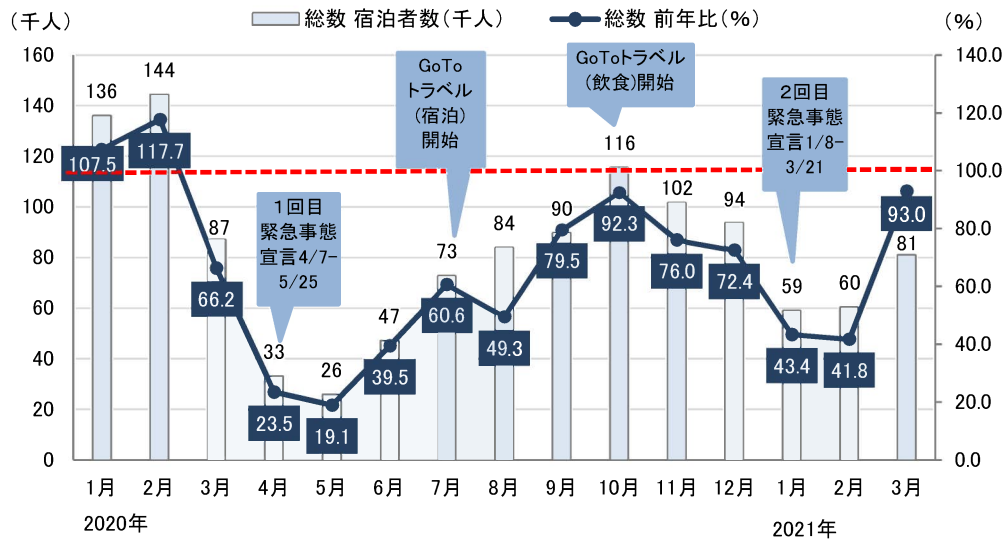
○総宿泊客数

- ・ 観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく令和2年(1月~12月)の総宿泊客数は103万1千人であり、前年(156万8千人)の65.8%に減少した。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による減少と回復の波は、入込客数と概ね同じ傾向となっており、GoToトラベルの宿泊割が開始された7月では前年比60.6%、飲食割が開始された10月では前年比92.3%に回復したものの、2回目の緊急事態宣言を受けて1、2月は低迷、その後3月にふたたび回復している。

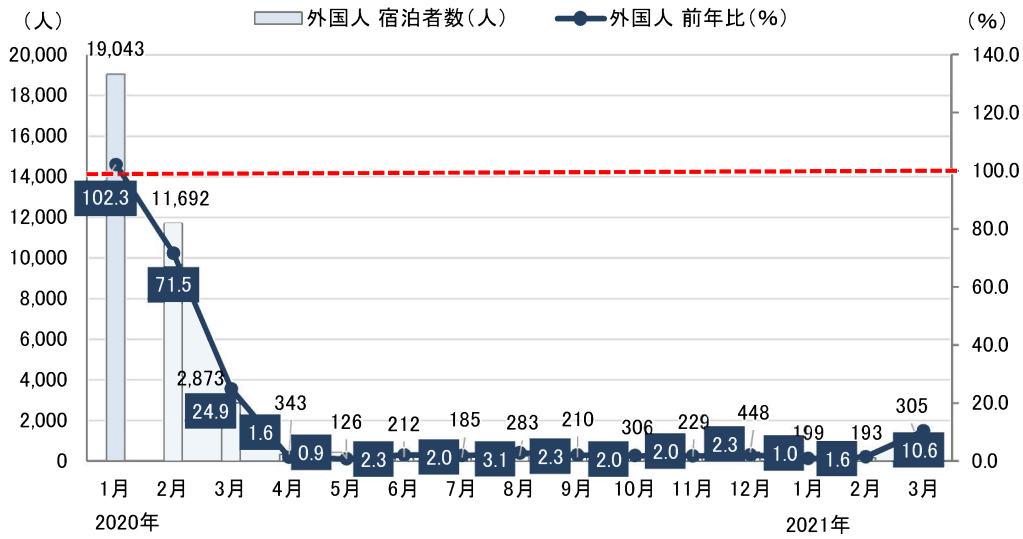
○外国人宿泊客数

- ・ 外国人宿泊客数の令和2年の総宿泊客数は3万5,951人となっており、前年(16万5,493人)の21.7%と大幅に減少した。特に令和2年3月18日からは外国人の入国制限措置がかけられたため、4月以降の外国人宿泊客数は月3桁の状況が続いている。

図表 10 月別 延宿泊者数（令和2年1月～令和3年3月）



図表 11 月別 外国人延宿泊者数（令和2年1月～令和3年3月）



※新型コロナウイルスの影響を比較するため、観光入込客数と宿泊客数は令和2年1月～令和3年3月までのグラフを示す

(3) 政策4：コンベンション等参加者数

図表 12 コンベンション等参加者数の目標値と実績値

(単位：人)

		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
参加者数	目標値	115,537	-	-	-	-	120,000
	実績値	-	106,513	113,702	108,061	10,220	28,771

◆目標値の算出方法: R3年度において、基準値(H27年度実績)の5%増を目標とする。

- 令和3年度のコンベンション等参加者数は2万8,771人である。直近5か年度におけるコンベンション開催件数は、平成29年度より156件、136件、116件、23件、42件となっている。
- 令和2年度は新型コロナ感染拡大の影響で大きく落ち込んだが、令和3年度はその2.81倍に回復しており、コロナ禍での誘致活動が一定の成果をあげているといえる。

(4) 全体：一人当たり観光消費額

図表 13 一人当たり観光消費額の目標値と実績値

(単位：円)

		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
全体	目標値	13,017	13,300	13,500	13,800	14,100	14,300
	実績値	-	13,866	10,415	11,693	12,497	11,601
宿泊客	目標値	21,266	21,700	22,100	22,500	23,000	23,400
	実績値	-	22,307	18,536	19,997	25,473	24,176
日帰り客	目標値	7,658	7,800	8,000	8,100	8,300	8,400
	実績値	-	6,812	6,207	6,843	7,360	6,638

◆目標値の算出方法：来訪者調査の結果(H27年度実施)を基準値とし、毎年2%の増(R3年度において10%の増)を目標とする。

- 市内来訪者に対する調査結果から算出した一人当たり観光消費額(宿泊客および日帰り客を含めた全体)は、令和3年度は一人当たり11,601円(前年度比92.8%)である。観光消費額は平成29年度から平成30年度にかけて減少し、その後は増加していたが、令和2年度から令和3年度にかけてやや減少に転じている状況である。なお、令和2年度のGoToトラベルによる消費押し上げ効果がなくなったことも、前年度比減の要因のひとつとみられる。
- 宿泊客・日帰り客別にみると、令和3年度の日帰り客は6,638円、市内宿泊者は24,176円であり、いずれも令和2年度から減少している。
- 消費額の内訳において、令和2年度からの減少が大きい項目を順にみると、日帰り客では「お土産代」「ガソリン代」「高速代」、宿泊客では「宿泊費」「高速代」「ガソリン代」となっている。遠方から自家用車で来訪する顧客の減少が推測される。一方で宿泊客の「飲食店」での消費は令和2年度から682円増となる4,074円で、過去5か年度で最も高くなっている。

<参考>

図表 14 「日帰り」客の観光消費額の内訳推移

(単位:円)

	利用率						利用者一人あたりの単価					
	H27	H29	H30	R1	R2	R3	H27	H29	H30	R1	R2	R3
長野ICで支払った高速代	49.2%	38.1%	46.2%	48.1%	61.9%	55.5%	2,449	2,801	3,026	2,599	1,865	1,810
市内で給油したガソリン代	16.4%	12.9%	17.1%	16.9%	26.1%	21.4%	2,370	2,035	3,066	2,642	2,546	2,259
市内での駐車場代	39.0%	32.1%	33.3%	35.6%	46.6%	40.6%	494	558	477	432	409	421
市内で支払ったレンタカー代	1.5%	1.9%	1.5%	1.2%	2.2%	1.4%	3,833	3,500	4,234	5,786	5,897	4,833
市内で支払った電車代、高速バス代	16.9%	10.1%	4.8%	8.4%	4.0%	4.5%	4,368	4,613	4,493	5,726	3,008	4,038
市内で支払ったバス・タクシー代	13.3%	14.5%	10.6%	6.9%	4.8%	7.6%	2,603	1,540	1,492	904	2,837	1,283
レストランや居酒屋等、飲食店で支払った費用	69.7%	75.6%	66.0%	75.5%	78.9%	80.0%	1,763	1,965	1,936	1,793	2,040	1,943
コンビニやスーパー等で支払った費用	22.1%	17.5%	24.6%	33.1%	35.2%	33.5%	666	893	877	834	912	820
宿泊費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
温泉や観光施設への入館料等 そば打ち体験・りんご狩りなどの参加費	38.5%	28.5%	16.5%	16.5%	29.3%	28.5%	650	720	952	927	1,065	1,133
お土産代(お菓子、お酒、キーホルダーなど)	74.4%	63.6%	56.7%	63.1%	72.7%	64.0%	3,905	3,917	3,375	3,521	3,448	3,609
その他の品目名	12.3%	5.2%	7.3%	0.5%	5.6%	8.3%	2,205	6,647	1,682	3,500	3,858	2,042

(単位:円)

	利用率(%) × 利用者一人あたりの単価(円)						
	H27	H29	H30	R1	R2	R3	R2→R3 増減額
長野ICで支払った高速代	1,205	1,067	1,396	1,249	1,154	1,005	-149 ③
市内で給油したガソリン代	389	262	525	446	664	483	-182 ②
市内での駐車場代	193	179	159	154	191	171	-20
市内で支払ったレンタカー代	59	67	65	68	130	68	-62
市内で支払った電車代、高速バス代	739	468	216	483	119	183	64
市内で支払ったバス・タクシー代	347	224	158	62	137	98	-39
レストランや居酒屋等、飲食店で支払った費用	1,229	1,486	1,277	1,354	1,609	1,555	-54
コンビニやスーパー等で支払った費用	147	157	216	276	321	275	-46
宿泊費	0	0	0	0	0	0	0
温泉や観光施設への入館料等 そば打ち体験・りんご狩りなどの参加費	250	205	157	153	312	323	11
お土産代(お菓子、お酒、キーホルダーなど)	2,904	2,490	1,914	2,221	2,508	2,309	-199 ①
その他の品目名	271	346	123	18	215	169	-46

※令和2年度からの減少が大きい順に①「お土産代」②「ガソリン代」③「高速代」となっている。

図表 15 「市内宿泊」客の観光消費額の内訳推移

(単位:円)

	利用率						利用者一人あたりの単価					
	H27	H29	H30	R1	R2	R3	H27	H29	H30	R1	R2	R3
長野ICで支払った高速代	36.3%	35.1%	43.0%	54.6%	62.2%	45.8%	2,637	3,203	3,369	3,140	2,519	2,300
市内で給油したガソリン代	16.9%	18.4%	21.7%	29.0%	34.1%	30.8%	2,494	2,963	3,466	2,957	2,621	2,390
市内での駐車場代	23.4%	24.9%	30.4%	36.0%	47.8%	38.7%	414	715	693	626	689	743
市内で支払ったレンタカー代	3.2%	4.6%	2.4%	2.7%	6.7%	8.3%	3,875	9,479	9,657	10,300	5,356	5,960
市内で支払った電車代、高速バス代	22.6%	19.7%	8.4%	11.3%	13.0%	16.6%	6,714	8,551	5,406	5,924	4,341	4,306
市内で支払ったバス・タクシー代	23.4%	26.2%	17.1%	17.7%	16.7%	30.4%	2,426	1,803	2,277	1,757	2,098	2,090
レストランや居酒屋等、飲食店で支払った費用	86.3%	78.7%	59.4%	83.6%	90.4%	90.9%	2,776	4,274	3,850	2,958	3,753	4,481
コンビニやスーパー等で支払った費用	34.7%	34.1%	34.6%	48.1%	61.1%	59.3%	1,293	1,512	1,303	1,276	1,343	1,209
宿泊費	83.1%	82.3%	79.4%	89.8%	96.3%	92.9%	11,076	11,361	11,442	10,447	12,942	11,736
温泉や観光施設への入館料等 そば打ち体験・りんご狩りなどの参加費	47.6%	31.8%	32.5%	30.9%	43.7%	37.5%	2,779	926	1,599	1,075	1,232	1,598
お土産代(お菓子、お酒、キーホルダーなど)	84.7%	74.4%	65.4%	76.1%	93.0%	85.8%	5,095	5,702	3,741	4,030	4,057	4,240
その他の品目名	17.7%	4.3%	7.3%	1.6%	7.4%	8.7%	3,307	2,663	3,509	4,763	5,780	3,714

(単位:円)

	利用率(%) × 利用者一人あたりの単価(円)						
	H27	H29	H30	R1	R2	R3	R2→R3 増減額
長野ICで支払った高速代	957	1,124	1,449	1,714	1,567	1,055	-512 ②
市内で給油したガソリン代	422	544	751	859	893	737	-156 ③
市内での駐車場代	97	178	211	226	329	288	-42
市内で支払ったレンタカー代	125	435	236	277	357	495	138
市内で支払った電車代、高速バス代	1,516	1,682	454	669	563	715	152
市内で支払ったバス・タクシー代	567	473	390	312	350	636	286
レストランや居酒屋等、飲食店で支払った費用	2,395	3,363	2,288	2,473	3,392	4,074	682 ④
コンビニやスーパー等で支払った費用	448	516	451	614	821	717	-104
宿泊費	9,200	9,350	9,081	9,379	12,463	10,901	-1,562 ①
温泉や観光施設への入館料等 そば打ち体験・りんご狩りなどの参加費	1,322	295	520	332	539	600	62
お土産代(お菓子、お酒、キーホルダーなど)	4,315	4,244	2,446	3,066	3,772	3,636	-135
その他の品目名	587	114	258	77	428	323	-105

※令和2年度からの減少が大きい順に①「宿泊費」②「高速代」③「ガソリン代」となっている。また令和2年度から最も増加している費目である④「飲食店」の増加額が大きい。

(5) 全体：観光客の満足度（「とても満足」）

図表 16 観光客の満足度（「とても満足」）の目標値と実績値

（単位：％）

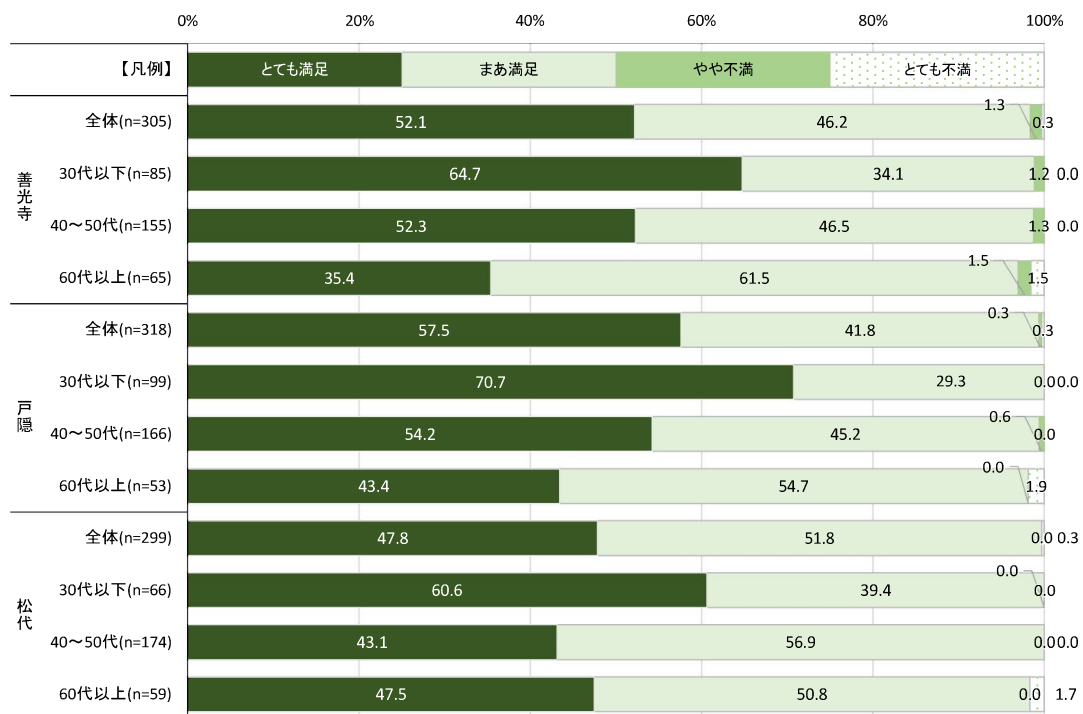
満足度 （とても満足の割合）		基準値 （H27年度）	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
市全体	目標値	46.6	-	-	-	-	57.0
	実績値	-	39.7	40.9	44.0	49.7	52.5
善光寺	目標値	43.1	-	-	-	-	53.0
	実績値	-	37.8	43.2	45.5	46.1	52.3
戸 隠	目標値	54.3	-	-	-	-	65.0
	実績値	-	49.2	48.5	55.8	56.4	57.6
松 代	目標値	43.1	-	-	-	-	53.0
	実績値	-	36.6	31.6	31.4	46.1	47.4

- ◆目標値の算出方法：来訪者調査(H27年度実施)の結果を基準値とし、R3年度において10%増を目標とする。
 なお質問項目は、「1.とても満足」「2.まあ満足」「3.やや不満」「4.とても不満」の4項目で、項目1の回答割合を満足度として用いている。

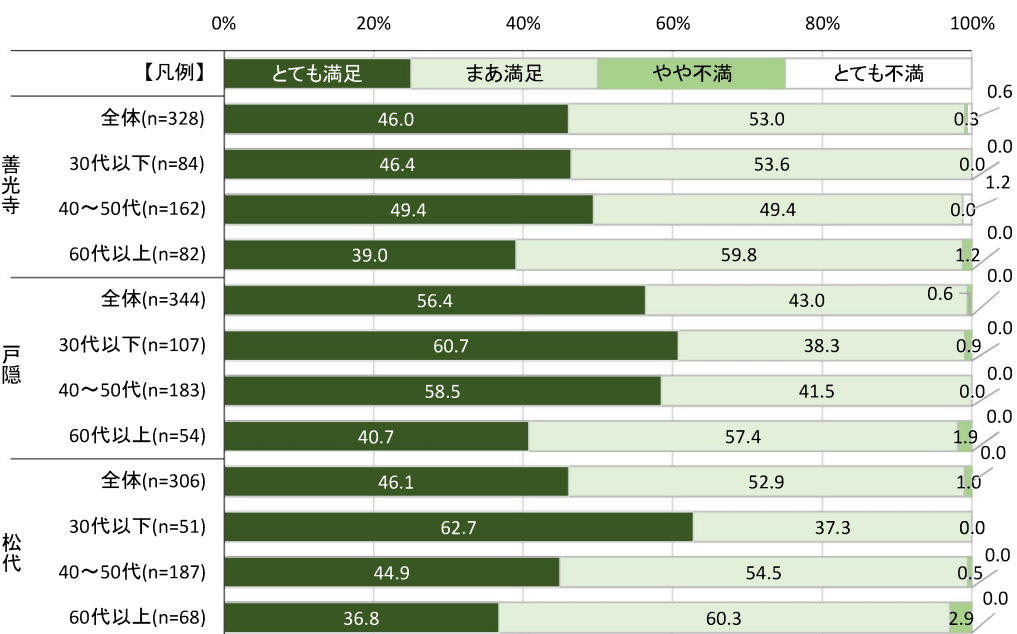
- ・ 市内来訪者への調査結果をもとに算出した、観光に対する満足度（アンケート調査で「とても満足」と回答した割合）をみると、令和3年度の市全体は52.5%とこれまでで最も高くなっている。観光地点別では、善光寺は52.3%、戸隠は57.6%、松代は47.4%であり、いずれもこれまでで最も高くなっている。
- ・ 満足度を地点別・年代別にみると、いずれに地点でも「30代以下」の満足度が最も高い。令和2年度には松代の「30代以下」の満足度の大きな上昇がみられたが、令和3年度には善光寺・戸隠の「30代以下」の満足度が大きく上昇しており（善光寺46.4%から64.7%に18.3ポイント増、戸隠で60.7%から70.7%に10.0ポイント増）、若年層の満足度が高い傾向が顕著になっている。
- ・ 一方シニア層の満足度もやや上昇しており、地点別では松代での増加が大きい（36.8%から47.5%に10.7ポイント増）。

<参考>

図表 17 調査地点別・年代別 長野市観光の全体的な満足度（令和3年度）



図表 18 調査地点別・年代別 長野市観光の全体的な満足度（令和2年度）



(6) 全体：観光客のリピート率（市外在住者で3回以上の来訪経験を持つ者の割合）

図表 19 観光客のリピート率の目標値と実績値

(単位：%)

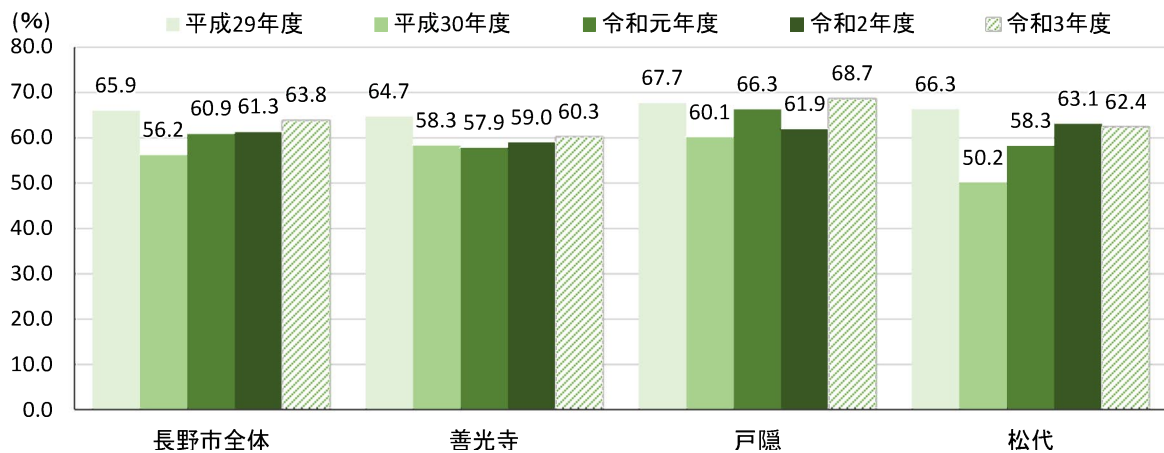
リピート率		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
市全体	目標値	56.0	-	-	-	-	66.0
	実績値	-	65.7	56.4	60.9	61.3	63.8

◆目標値の算出方法：市外在住者で3回以上来訪経験を持つ者の割合について10%増を目標とする。

- ・ リピート率は、令和3年度は63.8%であり、平成30年度より増加を続けている。令和3年度のリピート率を地点別にみると、最も高いのは戸隠で、令和2年度からの増加幅も他の地点より大きくなっている（61.9%から68.7%と6.8ポイント増）。

<参考>

図表 20 調査地点別 リピート率（来訪回数3回以上）の推移



(7) 全体：経済波及効果

図表 21 経済波及効果の目標値と実績値

(単位：億円)

		基準値	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
市全体	目標値	1,256 (H27 御開帳) 744 (平常年)	759	774	789	804	1,381
	実績値	-	918	700	733	344	393

◆目標値の算出方法：観光客動向把握調査(H27 年度実施)により、市内での観光消費額を算出。H27 年度の観光入込客数と、H22 年度から H26 年度の観光入込客数の平均値をそれぞれ用いて、H23 長野県版産業連関表をもとに算出。H29 年度から R2 年度は平常年の基準値をもとに毎年 2%増、R3 年度は H27 年度から 10%増を目標とする。

- 令和 3 年度の経済波及効果は 393 億円となった。経済波及効果は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少した前年度の 344 億円から 14.2%増とやや回復しているものの、コロナ前の令和元年度の 733 億円と比べると 53.6%に留まっている。
- 経済波及効果は「入込客数」と「一人当たり消費額」を掛け合わせて算出するが、令和 3 年度の「入込客数」は前年度比 117.8%、「一人当たり消費額」は前年度比 92.8%であり（先述）、入込客数の増加分が回復に寄与したといえる。